

グループ名	学籍番号	名前	コメント
a	03-150102	蛭田龍之介	狭い環境をどうするのか。自然エネルギー（パッシブ手法）だけでいけないか？
a	03-150089	中塚絢太	照明機器や空調機器の効率がよくなさそう。サーモカメラで機器や室内を見てみるといいかもしれない。建物の性能を、もっと調べてみたらいいのではないか。エアコン等の効率をみてる。エアコンの性能はわからなければ仮定してみる。
a	03-160091	堀誠	
b	03-160064	尾島慧亮	自分と父親の行動パターン、通風環境あたりで改善提案ができるのでは。光環境の導入が問題。開口まわりの改善。天空率。窓の位置なども改善提案できるのかな。
b	03-160095	溝口暉人	北側が低い→日射は？広い空間をかなり丁寧に調査、分析。プレゼンも丁寧。開口部の性能は？とった赤外線のカメラで温度を拾わないといけない。父から設計の意図をきいてそれとの比較。開口部の性能。自分の家を周辺敷地と一緒にかんがえてみるとよい。
b	03-160063	大音裕紀	サーモカメラの温度表示。改善提案につなげられるか。空調、照明機器の性能調査を。エアコンの使い方などが改善提案になるか。ルーバーの種類（縦横など）も考えられるポイント。
c	03-164002	砂田 頼佳	通風環境、光環境の改善が考えられる。天井とかをうまく使えるといいかもしれない。明るさの考え方もいろいろあるので考えてみるといいかもしれない。
c	03-160080	鄭せんえん	窓が少ない。換気扇から冷気が入ってきていることは設備的な手法で改善できるのでは。コンビニの光について掘り下げられるといいかもしれない。
c	03-160105	山田航輝	光環境の問題は改善の余地が大きくある。給湯のエネルギー量の確認と見直し。高断熱浴槽なども調べてみるといいのかもしれない。
d	03-160094	三浦玲児	生活リズムの違い。設備機器のエネルギー消費に影響しているかもしれない。窓サッシの性能を調べてみたほうが良い。給湯機器の性能が床不暖房の費用に直結する。
d	03-160104	山崎要	共用スペースで炊事や入浴を行っている。共用スペースとかで改善提案を行ってみてもいいのかもしれない。エアコンの位置等の提案。建物全体でのケーススタディができるとよい。
d	03-160086	橋本大弥	

e	03-150060	井上 溪	
e	03-150057	石橋 堯之	情報を集めたうえで、改善案の提案を。
e	03-150082	佐伯 渉	周りの建物のに風景にどれだけ遮られているのか。冬間の光や通風はパッシブ手法でおこなうのはむずかしいのかもしれない。アクティブ手法の導入を検討。
	03-160101	森本直哉	晴れの日の方が情報がほしいかもしれない。暖房使わなくていいのか。内部発熱は？暖房しなくていいというところを掘り下げたほうがいい。夏は？ そういう理由を調べたほうがいい。